

に莫賀達干俱羅勃の名見ゆるが如し、俱羅勃と囉羅勿が同音を寫したるものなることは次篇三四二頁註⑥に述べたり、決して掘羅と勿薦公との兩語に分たるべきものに非ず、若し之を分てば掘羅勿と薦公との兩者とすべきなり、思ふに此の語或は元來掘羅勿薦公若しくは掘羅勿篤公と書かれしものを、會要の基きたる史料には意味の不明なるより、或る處には誤りて勿薦公と記し、冊府元龜及び紀年錄の基きたるものには、同様の事情により勿篤公と書かれたりしものならんか、而しても唐會要の薦公にして正しとせば、突厥語回鶻語等にては、漢語の將軍なる語を訛りて sāngün と呼びたれば、唐人の中には Sāngün が將軍より出でたる語なるを知らずして、只だ其の音に従ひ、類音の薦公 sān-kung を以て之を寫したるものなるも知れず（唐言を北方民族の寫せる場合、若しくは北方語を唐に寫せる場合に語尾の n と ng との混同は屢々存する例にして怪しむに足らず）、然も亦若し篤公が正しとすれば、篤は特と同音なれば特勤と同一の語即ち tagin を寫したるものかも知る可らず。

\*薦は康熙字典に唐韻集韻並作甸切と見ゆれば國音と相同じ。

〔一五八〕 武宗の即位は開成五年正月なり。

〔一五九〕 唯冊府元龜繼襲篇には「會昌初其國爲黠戛斯所侵掠、餘衆奔歸吐蕃」と見え、従つて可汗の死も此の年のことと見ざる可らざるが如くなれど、上に述ぶる所を参照すれば、其の據る可らざるは明かなり。

〔一六〇〕 〔一六一〕 舊唐書本紀及び唐會要。

〔一六二〕 兩唐書本紀。

〔一六三〕 此の可汗の時代に於る回鶻と唐との互市に就きては、只此の長慶二年の記事あるのみなれど、思ふに其の他の年にも之が無かりしには非ずして、史書の載録の不備に基くものなるべし。

こゝに掲ぐる所は冊府元龜互市篇によれり、此の中二月のものは舊唐書廻紇傳にも見え、四月のものは同書には三月のこととせり。別に冊府元龜朝貢篇には此の年三月、十月、十二月及び四年十二月に各々使を遣して朝貢したることを記せり。

〔一六四〕 兩唐書本紀及回鶻傳舊・唐書吐蕃傳。